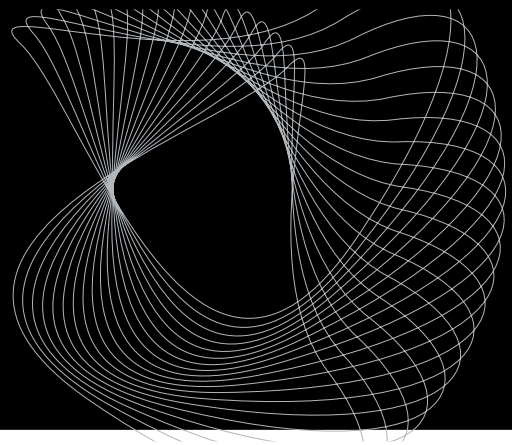


SyncIQ™

高速かつ信頼性の高いファイルベース レプリケーション



主な特徴

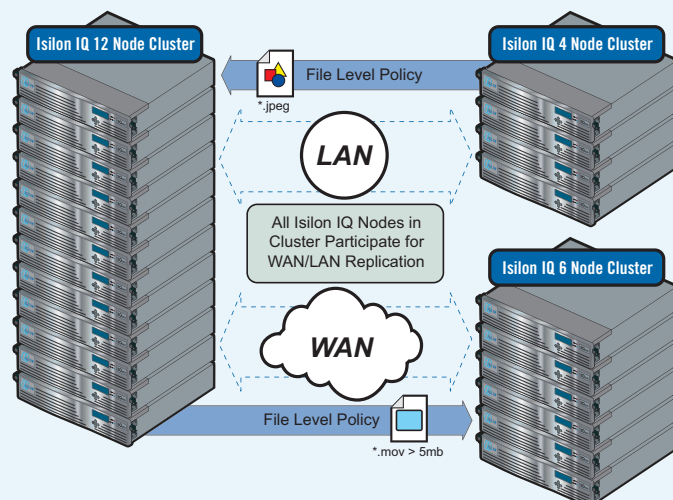
- 災害対策**
 プライマリ データを別の拠点 (LAN / WAN 経由) に複製してビジネスの継続性を確実にします。
- 分散デジタルワークフロー**
 複数の拠点に分散されたチームやグループが複数の共有ファイルのコピーで共同作業することによって、ワークフロー効率の改善を実現します。
- 分散型オンライン コンテンツ配信**
 複数のネットワーク、データセンター、または地理的に別々の拠点にコンテンツを分散配置することで、バンド幅の利用効率やアクセススピードを改善します。
- ローカル バックアップおよびリストア**
 低コストのディスクベースであるニアラインストレージをバックアップターゲットとして使用することで、大規模なバックアップ、リストアにかかる時間の大幅な短縮ならびに、データ管理コストの大幅な低減を実現します。

WAN/LAN 環境において卓越した高速性と信頼性に加えて、使いやすさとコスト削減を同時に実現するファイルベースのレプリケーション ソリューション

複数の拠点に設置された共有ストレージシステムに巨大なミッションクリティカル データセットを分散する必要がある場合、新たにインテリジェントなデータレプリケーション ソリューションが必要になります。先端企業では巨大なデジタルコンテンツ データに対するレプリケーション ソリューションについて、高速かつ高い信頼性を維持しつつ、使いやすさとコスト削減を同時に実現する手段を模索しています。これに加え、災害対策やディスクベースの高速バックアップ インフラの必要性も日増しに高まり、企業は迅速に且つ効果的にミッションクリティカル データを扱うソリューションを、しかも最高レベルの可用性を視野に入れたグローバル ネットワークシステムとして実現させる必要があります。

既存のストレージシステムやホストベースのデータレプリケーションツールはどうしても高額で複雑性を排除できず、機能面やアーキテクチャ上のパフォーマンス制限が課せられていました。主なストレージベンダーから提供されている既存のデータレプリケーション機能は、人海戦術的な対応と限定的なポリシーベース運用であり、企業を必ずしも満足させることができていないのが実情です。ブロックレベルのみのレプリケーション技術や業界標準への対応の遅れにより、従来のストレージはファイルのタイプ別、サイズ別、さらに格納されている場所を指定してファイルを複製するといった顧客の要望に対応できていません。また、同時にバンド幅の利用効率の向上やコスト管理の簡素化についても同様のことが言えます。効果的に分散されたレプリケーションシステムが無ければ、データの複製はターゲットストレージリソースに対してただパフォーマンスの低下を招くだけで、単一のストレージコントローラ、もしくはシングルサーバーまたはヘッドの能力によって、頻繁にボトルネックを引き起こすこととなります。

SyncIQ レプリケーション アーキテクチャ



洗練されたツール

SyncIQ は、今日存在する中でも最も洗練されたポリシーベースのファイルレプリケーション管理ツールの一つであるといえます。SyncIQ はファイル形式、ファイルサイズのバンド幅要件、ストレージリソースの可用性に応じた複製ジョブをスケジューリングする一連のポリシーを豊富に揃えています。これらのポリシーはクラスタ、ディレクトリ、またはファイルレベルで設定可能であり、使いやすい Web ベースのインターフェースからマウスを数回クリックするだけで簡単に操作できます。

パフォーマンス

SyncIQ は複数の Isilon IQ クラスタ間で非常に速いファイルのレプリケーションを実行します。SyncIQ は、全てのノード間でソースおよびターゲットとする Isilon IQ クラスタにおいて複製ジョブを並列処理する Isilon IQ の完全分散型クラスタアーキテクチャを活用した唯一のレプリケーションツールです。ネットワークのバンド幅とクラスタリソースの利用度に応じてパフォーマンスを設定・最適化することが可能で、複数のポリシーをそれぞれ異なる日時に設定することができます。

優れた操作性と容易な管理

SyncIQ は比類ない簡易性と使い易さの特徴としています。完全統合された分かりやすい Web ベースの運用管理コンソールにより、全ての Isilon IQ ノードに渡ってグラフィックなモニタリングとレポートが可能で、また、Isilon IQ に SyncIQ ソフトウェアを組み合わせることも可能であり、わずか 10 分程度でインストール、設定を完了してデータのレプリケーションを始めることができます。専門的なサービスや特別なトレーニングを受ける必要はなく、複雑なシステム設計も必要ありません。

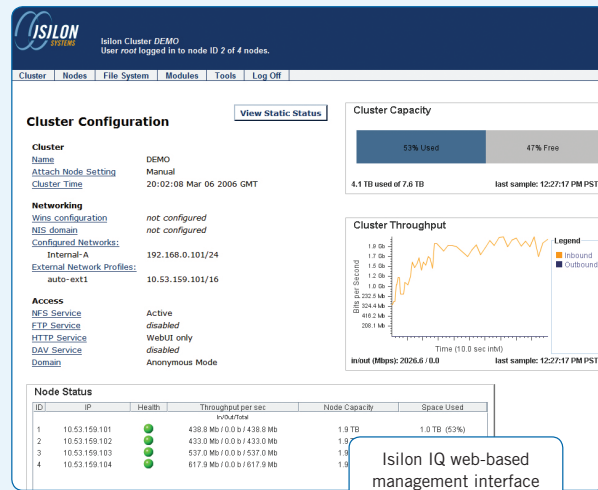
主な特徴

SyncIQ アーキテクチャ

- **ファイルベースの非同期レプリケーション**：Isilon IQ ストレージの指定した n 個のクラスタに対して、非同期にファイルベースのデータレプリケーションを行います。
- **WAN と LAN のサポート**：LAN（社内からデータセンターへ）または WAN（外部のデータセンター間）上でレプリケーションジョブを実行することができます。
- **マルチ・ディレクショナル・レプリケーション**：SyncIQ のレプリケーション機能は、一対一、一対多、多対多のレプリケーションを一方方向だけでなく、双方向でサポートしています。

SyncIQ の運用管理機能

- **レプリケーションポリシー制御**：クラスタ全体、またはディレクトリごとにレプリケーションポリシーを設定することができます。
- **ファイルごとのポリシー設定**：特定のファイル形式（例：.jpg、.pdf など）や特定のファイルサイズ（例：100KB、1GB など）ごとにレプリケーションポリシーを設定することができます。
- **レプリケーションのスケジューリングと回数設定**：24時間ごと、週に一度、などレプリケーションの頻度を指定することができます。
- **Webベースのモニタリング**：強力な Web ベースのインターフェースは OneFS 運用管理ツールと完全統合されているため、スケジューリング、ポリシー設定、モニタリング、ログ機能、データ転送、バンド幅利用など全ての機能を管理することができます。



Isilon IQ web-based management interface

SyncIQ パフォーマンス

- **卓越したレプリケーション パフォーマンス**：Isilon IQ のクラスタアーキテクチャを活用し、複製ジョブが実行されている間も全てのノードはデータをバックグラウンドで送受信します。この間システムに読み込みあるいは書き込みをしているユーザへの影響はありません。SyncIQ はネットワーク ストレージ ソリューションの市場で最も高い性能を持つファイルベースのレプリケーション ツールです。
- **差分データの移行**：変更されたファイルのみターゲット クラスタに複製されます。このため移行時間を最適化し、複製に占有するバンド幅を最小化することができます。
- **バンド幅設定とスケジューリング**：ユーザは特定のジョブで使用されるネットワークのバンド幅を制限できます。このため、ネットワークの可用性、利用状況、コストに応じて定義付けされた時間内で異なるバンド幅をスケジューリングに応じて設定することができます。
- **スロットル クラスタ インパクト**：複製するスピードと、クラスタにアクセスするアプリケーションまたはユーザのパフォーマンスとのバランスを保つために、Isilon IQ クラスタリソースの範囲内で複製ジョブを調整することができます。

SyncIQ 高可用性

- **障害と復元**：システムやネットワークの障害のためセカンダリシステムが使用できない場合、複製ジョブが最後に実行できたコピー操作までロールバックしリスタートします。
- **デリート操作のスケジューリング**：SyncIQ はデリート操作をあらかじめスケジューリングすることができ、一定時間が過ぎれば（例：1週間後、1ヶ月後）レプリケーション データセットを削除することができます。
- **アラート機能とログ機能**：ネットワーク接続に致命的な障害または損害が生じた場合、あらかじめ重要なアラートを受信するように設定されている受信者全員に対してアラートを送信します。

Isilon IQ 及び SyncIQ に関するさらに詳しい情報については下記のアイシロン・システムズ（株）、またはパートナー各社までお問い合わせ下さい。



How breakthroughs begin.™
ブレークスルーはここから

アイシロン・システムズ株式会社
〒151-0053
東京都渋谷区代々木 1-22-1
代々木1丁目ビル 12階

TEL: (03) 5358-7188 (代表)
FAX: (03) 5333-4443
Email: sales-jp@isilon.com
http://www.isilon.co.jp/